



HOME > [暮らし](#) > 記事

暮らし

安全に神経ブロック療法 神戸の開業医が学会発表



超音波検査装置を試す朴基彦
院長＝神戸市中央区御幸通6

局所的な痛みを緩和するため神経そのものの機能を一時的にまひさせる神経ブロック療法で、超音波(エコー)検査装置で体内を見ながら麻酔薬を注射する方法が普及しつつある。導入している神戸市内の開業医によると、エックス線による骨を中心とした従来の画像に比べ、神経や血管などが詳細に映るエコーの方がより安全で正確な治療ができるという。開業医らは7月1日から京都市で開かれる日本ペインクリニック学会大会で、自らの経験を報告する。(金井恒幸)

ペインクリニックは、頭痛や神経痛、腰痛など、外傷を除く全身の痛みの緩和が専門の診療所や病院診療科。知覚神経や交感神経などに局所麻酔薬を注射し、血行を改善したり痛みを和らげたりする神経ブロックを中心に行う。注射の位置を特定するには触診のほか、エックス線を使うのが一般的だったが、1990年代に欧州でエコーが使われ始めた。

神戸市中央区で「ぱくペインクリニック」を開業する朴基彦(パクキオン)院長(40)は、国内でペインクリニックの先駆けとされるNTT東日本関東病院(東京)に2004年から勤務し、エコーを使った神経ブロックに出合った。08年には神戸大医学部付属病院に移り、エコーの導入を推進。今年2月に開業したが、神戸大と同クリニックでエコーを使った神経ブロックを千例以上経験してきた。

朴院長はエックス線を使う場合もあるが、「特に首などに注射する際、神経と血管が近いため、血管が映像で分かるエコーの方がより安全にできる」と話す。エックス線のような被ばくがなく、手術の全身麻酔で針を血管に入れる際にも使われつつある。

ただ、エコーは小型でも1台数百万円することや、技術の習熟には一定の訓練が必要なことなどから、ペインクリニックではまだ定着したとはいえない状況だ。朴院長は普及を進めるため、これまでにエコーを使った神経ブロックなどについての本も共著で出版。「患者さんにとっての有益な治療法の一つ。今後も利用を呼び掛けたい」と話す。

(2010/06/12 12:37)

関連記事

- ▶ 足痛、スタジオで相談 靴工房に併設 神戸・長田 掲載日 2010-01-09
- ▶ がん患者にアロマセラピー 宝塚市立病院で好評 掲載日 2009-10-10

サイト全体 | 類似検索

検索 検索方法

オリックス生命

プロが入りたい
No.1医療保険

3年連続獲得

医療保険
CURE
キュア

※「週刊ダイヤモンド」3月20日特大号 プロが入りたい保険 医療保険部門

詳しくはコチラ

神戸新聞購読のご案内

試読キャンペーン実施中!

わが町リポート

地域の魅力 読者が発信

日曜診療 神戸・岸皮膚科

神戸市西区・学園都市駅前 AGA・円形脱毛治療もしています

kishi-hifuka.com/

明石駅前 水野整形外科

整形外科・リハビリ・スポーツ 最小侵襲・人工関節・脊椎・内視鏡

www.mizuno-seikei.jp

ハローワークの看護師求人

家の近所で探せる看護師求人10,000件 完全無料で病院・診療所のお仕事探し

kango.919.co.jp

Ads by Google

お知らせ

- ▶ 第1回ひょうご新聞感想文コンクールUP
- ▶ 第21期女流王位戦
- ▶ デイリースポーツ電子版スタート
- ▶ 神戸洋菓子職人plus(プラス) 限定販売スイーツのネットストア開店! NEW

神戸のお天気 14-15日

18時 24時 6時

神戸 姫路 西脇 柏原
豊岡 洲本 大阪 京都

連載・特集 一覧

- ▶ JR脱線事故
- ▶ 民意の起訴
- ▶ 新型インフル特集
- ▶ 岡崎の軌跡 W杯
- ▶ 県西・北部豪雨特集
- ▶ B型肝炎 和解の訴訟